



不知火っ子だより

第 8 号

平成 29 年 7 月 6 日 文責 校長 吉永博美

不知火町「小中連携の日」6/27 実施

不知火小と松合小の6年生は不知火中学校で合同学習
1～5年生は不知火小学校で交流学习を行いました。

昨年度まで、松合小と不知火小の交流学习を定期的に実施していましたが、今年度はそれに加え、6年生は、中学校で交流学习を行うこととしました。これは、松合小との親睦を深めるとともに、中学校入学への不安を少しでも解消し、中学校に期待感をもって進学できるようにすることを目的の一つとしています。また、教師側からも、義務教育9年間を見通した教育活動を推進する意識を高めるよい機会となるものです。このような日を「小中連携の日」とし、年に3回ほど予定しています。今回6年生は中学校で、美術、音楽、国語、英語の授業を受けました。中学校では、それぞれの教科専門の先生方が授業を工夫されており、とても楽しく内容のある授業に6年生も一生懸命取り組んでいました。小学校では、松合小の子どもたちが、各学年に入り、3・4時間目と給食、昼休みを一緒に過ごしました。交流学习をすることで、互いが刺激しあい、互いのよさに気付く機会となりました。高学年になると、集団宿泊訓練や修学旅行も一緒に行きます。今後もそれぞれのよさが伸ばせる機会となればと思います。

「小中連携の日」の6年生児童の感想を紹介します。

「小中連携の日」で、中学校は教科ごとに先生が代わることを知って「へえ。」と思いました。授業は分かりやすく楽しかったです。掃除の時間は、ほとんどの人が無言清掃をしていて、すごいなと思いました。

そしてひさしぶりに中学生と遊べてよかったです。中学生も優しく「ひさしぶり。」と声をかけてくれてうれしかったです。

中学校の部活の種類や、部屋の数なども分かり、中学校って楽しそうなところだなと思いました。早く中学生になりたいと思いました。(江島 佑将)

「小中交流の日」をふりかえって、私が学んだことは「勉強の大切さです。中学校で授業を受けた音楽や英語は、小学校のときからの積み重ねだったので、小学校の勉強はしっかりやっておこうと思いました。そして、私が一番印象に残ったことは、中学生の「自問清掃」です。無言で一斉けんめい掃除をしている姿がとても印象に残りました。

美術の時間は、漆間先生の授業で「三原色」という言葉を教えてもらいました。その三原色で描いた本物そっくりの葉を見て、どうして、三原色だけでこんな色ができるのか不思議でした。十一月の「小中連携の日」は、また、松合小の人たちと楽しく授業したいです。

(後藤 美咲桜)

7月11日(火)は、授業参観(人権学習)、救命救急講習会、学級懇談会です。ご参加よろしくお願いします。

※当日1時より、ペアレントメンターによる子育て講演会も計画しています。事前に申し込まれていない方でも当日参加できますので、どうぞおいでください。



※学校ホームページには子どもたちの様子等を随時掲載しています。どうぞご覧ください。